2026 年 11 月 13 日

角山　智

銘柄分析レポート：ｔｒｉｐｌａ（５１３６）

宿泊施設向けクラウド型公式サイト予約システム「トリプラブック」などのＩＴソリューションを提供している会社です。

１ 業績

２０２２年１０月期に損益分岐点を超過し黒字化。同年１１月に東証グロース市場へのＩＰＯを果たしました。それ以降、現地企業の買収や海外子会社の設立を通じ、アジアを中心とした積極的な海外展開を進めています。３社の買収を行った２０２４年１０月期は、M&A費用の計上などにより、一時的に営業利益率が低下しました。

	2021/10	2022/10	2023/10	2024/10	2025/10
営業収益(百万円)	506	817	1,176	1,867	2,573
営業利益(百万円)	-136	83	177	268	519
当期純利益(百万円)	-128	74	165	209	501
営業CF(百万円)	-162	33	66	250	307
設備投資(百万円)	0	-5	-8	-56	-10
コアFCF(百万円)	-162	28	58	194	297
1株純利益(円)	-27.8	16.2	30.7	36.2	85.3
1株配当金(円)	0	0	0	0	0
1株純資産(円)	32.4	48.7	186.2	182.2	275.7

営業利益率(%)	-26.9	10.2	15.1	14.4	20.2
投下資本回転率(倍)	6.0	5.2	5.0	2.0	2.1
ROIC(%)	-160.0	52.9	74.7	28.6	41.9
ROE(%)	-85.9	33.0	15.9	19.6	30.7
自己資本比率(%)	16.4	11.9	17.8	9.7	8.3

注：営業ＣＦは「預り金の増減額」を除外した実質ベースで計算

ＲＯＩＣ（%）＝営業利益÷投下資本　または　ＲＯＩＣ（%）＝営業利益率×投下資本回転率

２ サービス別営業収益

主力サービスのトリプラブックは、宿泊施設の公式サイトにジャバスクリプト（ウェブサイトで動作するプログラム）を埋め込むことにより、公式サイト上に予約画面が表示され、楽天トラベルなどのＯＴＡ（オンライン旅行会社）を経由せず、自社サイト内で予約を完結できるサービスです。「手間いらず」などサイトコントローラの国内大手４社とも連携しています。

トリプラボットは、宿泊施設等の公式サイト上にチャットボットを表示させ、ユーザー（宿泊客等）からの問合せに対して、同社で開発したＡＩが自動的に回答するサービスです。従来、電話で受け付けていた問合せをチャットボット代用できるため、より付加価値の高い業務に人的リソースを割くことができます。

(単位:百万円)	2022/10	2023/10	2024/10	2025/10
トリプラブック	452	766	1,299	1,814
トリプラボット	349	401	367	411
その他	15	8	200	347